

Photo

島根半島の海岸に生息する甲虫類 (9) オサムシモドキ

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

オサムシモドキ *Craspedonotus tibialis* Scahaum は、体長 20-24mm ほどのオサムシ科に属する地表性甲虫で、国内では北海道から九州まで広く分布している（上野，1985）。本種はいわゆる好海浜性種で、砂地であれば河川など内陸にも生息している。島根半島の海岸では、神戸川の河口に生息している（河上・林，2007）。本種は夜行性のため、昼間の見つけ採り法では確認されにくい。



写真 オサムシモドキの幼虫

2006 年 3 月 20 日 13 時 21 分，出雲市大社町稲佐浜にて撮影。砂浜に漂着した，漁具の発泡スチロール製浮きの下より発見した。幼虫の体長は約 30mm。本種は大社砂丘周辺には多い種とみられるが，2006 年の調査では，ライトトラップやバイトトラップを用いていないため，成虫を確認できなかった。

[文献] 河上康子・林 成多（2007）日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究（2）島根半島。ホシザキグリーン財団研究報告，（10）。印刷中。

上野俊一（1985）オサムシモドキ亜科。上野俊一ほか編「原色日本甲虫図鑑Ⅱ」: 63-64, pl.51-54. 保育社。